



スマート台北 – デジタル化された 地域ワクチン接種会場

台北市



概要

- 1) 起源
- 2) 方法
- 3) 結果
- 4) **SDGsの実施**
- 5) **まとめと展望**



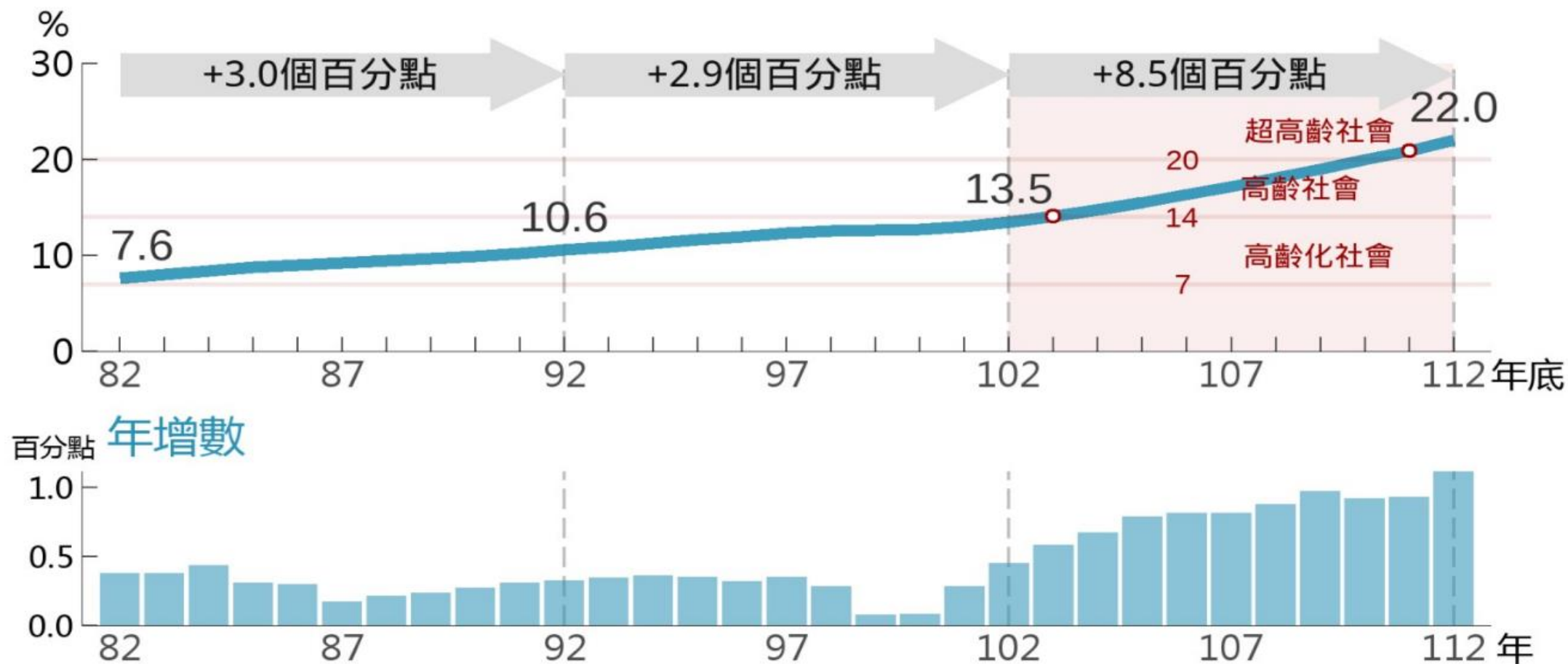
1.起源 (1)

- 台北市は中華民国(台湾)の首都です。
- 人口:250万人
- 12の行政区と456の村



1.起源 (2)

- 台北市の高齢人口は年々増加している。
- 2022年に「超高齢社会」のレベルに到達。



1.起源 (3)

台北市の地域ワクチン接種会場

- インフルエンザ、COVID-19、肺炎球菌ワクチンを提供
 - - 短期間(10月～12月)で実施
 - - 大量接種(15万回以上の接種)を実施
- 地域施設を活用(例:村役場、住民活動センターなど)
- 主に高齢者を対象とする

1.起源 (4)

地域ワクチン接種会場

以前の市民の状況

1. 個人情報への記入に時間がかかる
2. ワクチン接種履歴を思い出すのが困難



1.起源 (4)

地域ワクチン接種会場

以前の医療従事者の状況

1.大量の書類作業

2.ワクチン接種記録の手作業 チェック

3.情報が統合されたシステム に一元化されていない



2.方法

- ・台北市の「村役場デジタルインフラ構築システム」の経験を参考
- ・台湾初の「地域ワクチン接種システム」を開発

市民

- ・健康保険証を持参
- ・カードリーダーで読み取り
- ・システムでワクチン接種履歴を確認

医療従事者

- ・医師による接種前評価
- ・医療従事者によるワクチン接種の完了

クロスドメイン協力



2.1クロスドメイン協力

地域ワクチン接種拠点のデジタル化

- プロセス設計、ハードウェア調達

接種前の評価、ワクチン接種



2.2システム機能

● フロントエンド

現地登録

ワクチン接種資格の確認

医師による接種前評価

看護師によるワクチン接種完了



● バックエンド

ワクチン接種拠点の管理

ワクチン情報の管理

フロントエンドユーザーの管理



2.3プロジェクトのフェーズ

2021:
パイロットプログラムを
通じて実現可能性を評価



2022-2023: 接種前評価の
電子署名とワクチン管理の促進



2024:
複数のワクチン接種資格を判断できる
クロスプラットフォームWebシステムを確立し、
利用範囲を拡大



3.結果 (1)

01

利便性と効率向上

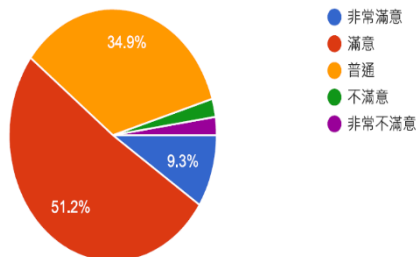


02

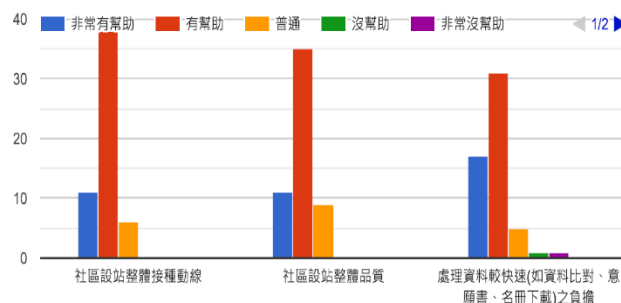
医療従事者の高い満足度

您對於 本府「社區疫苗接種便民服務系統」醫師「評估關卡」或是護理師「接種登錄」數位化的操作方式滿意度

43 則回應



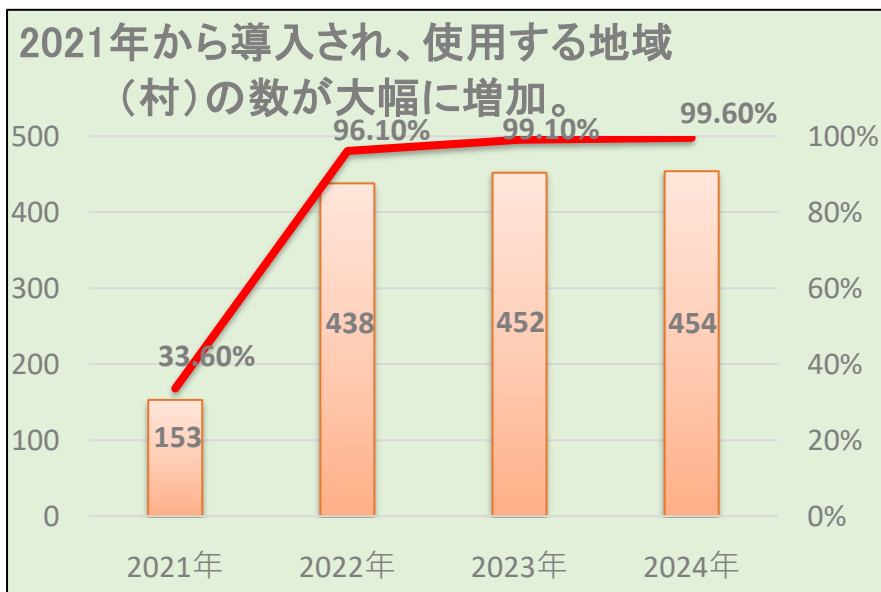
請問使用本府「社區疫苗接種便民服務系統」，是否改善社區站整體接種動線及品質？



3.結果 (2)

03

軽量デバイス、多分野での活用に適応



- 2024年の台北市庁舎での接種会場でも活用されている。

04

政府のイメージ向上

3.結果 (3)

05

紙の消費量を削減

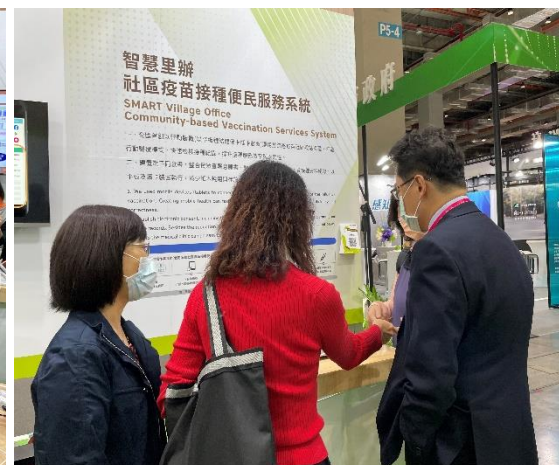


ワンクリック
ダウンロード



06

トレーニングと 外部展示の強化



4. SDGsの実装



01

戦略1

SDG3:すべての人に健康と福祉を
SDG9:産業と技術革新の基盤をつくろう
SDG11:持続可能な都市とコミュニティ

02

戦略2

SDG10:人や国の不平等をなくそう
SDG12:つくる責任 つかう責任

03

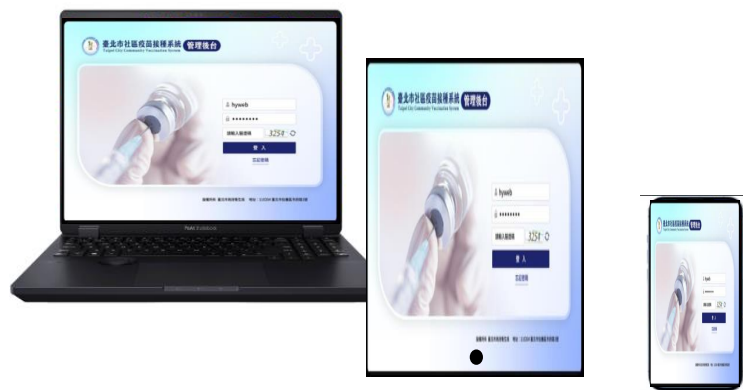
戦略3

SDG17:パートナーシップで
目標を達成しよう

5.まとめと展望

スマートガバメント (Smart Government) の推進 台北市政府は「スマートシティの共通善」を核とし、「デジタルワクチン接種の実現」を目標に掲げています。

これを実現するために、異分野協力(クロスドメインコラボレーション)や 資源共有 を推進し、より効率的で持続可能なシステムを構築しています。



応用範囲の拡大



学習のベンチマークとして活用



整合医療系統
医療システムとの統合

ご清聴ありがとうございました

